

山県市地域福祉推進市民会議だより

ピンピン★きらり



平成24年3月 第4号発行

山県市地域福祉推進市民会議

事務局：社会福祉法人山県市社会福祉協議会

〒501-2259 山県市岩佐1177-1

TEL: (0581)52-3010

FAX: (0581)52-2941

HP: <http://www.y-shakyo.or.jp/>

Eメール community@y-shakyo.or.jp

みんなの力で福祉のまちづくり!

～福祉のまちづくりフォーラムを開催しました～



司会は大沢副委員長
が務めました。



2月4日（土）に高富中央公民館で開催しました「平成23年度福祉のまちづくりフォーラム」には約200名の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

伊自良北小学校の福祉教育の取り組み報告や、市民会議の4年間の活動報告から地域のみなさまと一緒に今後の地域福祉について考えることができたフォーラムとなりました。

～パネルディスカッション～

「山縣市地域福祉推進計画と市民会議の取り組み」

コーディネーターに普段の市民会議活動でもお世話になっている、中部学院大学短期大学部准教授の大井智香子先生をお招きし、市民会議の委員が、4年間の活動を報告しました。



コーディネーターの大井智香子氏（左）と丹羽英之委員長（右）



計画推進・検証グループ (aグループ) 小栗卓郎リーダー

地域福祉懇談会で得られた情報を計画の50項目にあてはめながら、各地域での成果や今後の課題を整理しました。ゴミだしマナーの啓発やふれあいサロン活動は積極的に行っている地域が多いことがわかり、自治会活動の活性化に悩む声も多く聞かれました。



実態調査・研究グループ (bグループ) 大野朝義リーダー

aグループでまとめた意見の中から、①高齢者の外出手段の確保、②ふれあいサロン活動、③耕作放棄地の活用の3つに注目し、積極的な取り組みをしている地域へ実態調査に出向きました。

みなさん楽しく活動することが、地域の絆づくりにつながると感じました。



広報・啓発グループ (cグループ) 柘植克責リーダー

a、bグループで集まった情報を多くの方に知ってもらえるように広報紙「ピンピン☆きらり」を作成・発行しています。現在は、福祉施設の製品PRや市内の歴史PRもからめて地域で何か活動ができないか検討しています。

会場からは…

- ・「ふれあいサロンの有志が着物をほどいて作った小物を地域の方が使っているよ。」
- ・「今日の話聞いて、福祉は幸せという意味なら、みんなが気負わず自然に助け合いの気持ちを持つようになるといいと思った。」とご意見、ご感想をいただきました。

このパネルディスカッションを通して会場みなさんと、自分たちの地域をよくするために自分たちでできることを実践していくことで、少しずつ地域福祉のまちづくりが進んでいくのだということを確認できました。

ロビーも、市民会議の紹介パネルやキャラクターグッズの展示、福祉施設の製品販売と大変にぎわいました。

来場者に「つなぎとあわせ」のマグネットをプレゼントしました。



顔出しパネルが新グッズとして登場！



福祉施設の製品のお買い上げにご協力いただき、ありがとうございました。



平成24年・25年度市民会議メンバー募集！

私たちと一緒に「福祉のまちづくり」について考えてみませんか？平成24年度は現計画の最終年度であるとともに、次期計画を策定する年でもあります。みなさんの熱い思いを「山県市地域福祉推進計画」に込めましょう！

【応募できる方】

市内在住・在勤の13歳以上の方で、地域福祉の活動を行なっている方またはこれから始めたいと思っている方のうち、平成24年・25年度の間で開催する会議に継続して参加いただける方

【募集人数】 30名程度 ※応募者が多数の場合は選考させていただきます。

【応募締切】 平成24年4月5日（木）

【応募方法】 件名を「市民会議委員応募」とし、①氏名（ふりがな） ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤職業 ⑥所属団体 ⑦現在行っている活動または関心のある活動（介助の必要の有無をご記入の上、提出してください。（様式自由）

【問合せ・応募先】

山県市社会福祉協議会（山県市岩佐1177-1 美山老人福祉センター内）

TEL 52-3010 FAX 52-2941

山県市保健福祉部社会福祉課（山県市高木1000-1 ふれあいセンター内）

TEL 22-6837 FAX 22-6841



福祉施設の製品紹介コーナー

福祉のまちづくりフォーラムの会場でも、福祉施設等の利用者が作製した小物や食品が販売されました。施設で心を込めて作られた製品が、市内の多くの方に手に取ってもらうよい機会になったのではないかと考えています。福祉施設も地域の一員です。地域で行われる行事の際にはぜひお声をかけてみてはいかがでしょうか。

今回は、市民会議委員が取材を行った4つの施設の製品を紹介します。

あしたの会自然の家

手作りのケーキや小物は大変人気があり、イベントなどの出張販売にも応じてくださいます。



場所：山県市大桑3512-1
電話：27-0030

NPO法人Kaba's Fam

子育て中のママたちが作った、手作り育児用品などを「おやこYYひろば」で、委託販売しています。おすすめ商品は、「おしりふきケース」「マグポーチ」「マザーバッグ」です。



場所：山県市高富1196-1
おやこYYひろば内
時間：月・火・木 10:30~15:30

ワークス伊自良

利用者がつくるパンやクッキーは隣接するレインボーハウスで焼き立てを食べることができます。

出張販売も行っています。



場所：山県市大桑3512-1
電話：27-0030

NPO 法人どんぐり会

同朋会（ワークス伊自良や桜美寮）の製品を「喫茶どんぐり」でも買うことができます。



竹炭石鹸、においとり袋等

場所：山県市青波249-3

山県市歴史コラム

～山県市おもしろびっくり歴史物語 「十五社大神宮」～

昔の人が言ったとさ。「山県大桑に過ぎたるものが二つあり、北の十五社、南の南泉」

江戸時代に岩倉卿9代具選（ともかず）が、調査の結果天皇家に関わる神々が祀ってあるので十五社大神宮の名を許された。徳川の時代に恐れ多くも「大神宮」とは。

もうひとつびっくりなのは、社門はなんと十六花卉の菊。天皇家の家紋なのだ。岩倉卿14代は、明治時代に活躍した岩倉具視（いわくらともみ）、その4代後の玄孫（やしやご）が加山雄三。いやはや歴史はおもしろい。そしてびっくり…。